

通学に公共交通機関の利用を！

石川議員 新たな道路が出来るると自動車交通量が増え、通学路の安全点検はより重要になってくる。安定した安全確保のため、横断歩道の設置や速度制限、道路の拡幅など、今後どのように進めていくのか。また、平成29年開校の七尾中学校の遠距離通学・冬期間通学について、公共交通機関を活用することによって中学生が自立への成長期に人と触れ合うことが出来る。また、ない経験の場と考えるが、このような通学のあり方を構築する考えはあるのか。

近江教育長 今年度、七尾市通学路交通安全プログラムを作成し、これに沿ってPTAや警察など各種団体で七尾市通学路安全推進会議を設置する。ここで、児童生徒が安心して通学できるように安全対策を継続的に推進していく。



七尾高校前の道路

その他の質問項目
■総合教育会議の設置
■消防救急体制の整備

代表質問(等政会)

七尾中学校の遠距離通学の対応について

観光地としての今後の対応は！

桂議員 ①新幹線や能越道などによる効果で多くの観光客が金沢や能登に訪れているが、この効果を持続するのが大変。市内の観光も連携しながら回遊性を高め、七尾で過ごす時間を増やす取り組みが重要である。今後の方策はあるのか。②観光交流センターが完成すれば、市内の観光スポットを結ぶ核となる施設になるが、どのようなサービスを提供するのか。また、愛称をつける考えはないのか。

不嶋市長 ①現在は何もしなくてもお客さんがくる状態。このようにときにこそ丁寧な対応やおもてなしの心をしっかりと持って対応することが大事。足元を見る形で暴利をむさぼるような対応ではダメ。観光事業者には、このことを肝に銘じて対応していただくようお願いしている。また、回遊性の向上に向け、歩道やサイン看板の整備のほかに観光案内所の新たなサービス、レンタサイクルなどを検討している。



北陸新幹線

その他の質問項目
■地方創生七尾盤総合戦略
■新たな地域づくり
■コミュニティの仕組み
■七尾駅隣接地の取得

代表質問(礎)

新幹線開業・能越道開通の効果について

歴史遺産で地域活性化を！

荒川議員 今年11月に石川県は、複数の文化財をまとめて石川の魅力発信に活用する「いしかわ歴史遺産」の認定を行う。認定基準は、地域の歴史や伝統、風習などから構成されるストーリーなど。七尾市からも応募しようだが、どのようなものを応募したのか。そして、この認定でどのようなことを期待するのか。また、畠山文化にゆかりのある関係市町と連携し、歴史文化のネットワークや地域活性化策など、新しい取り組みは出来ないのか。

近江教育長 七尾市では今回「七尾城が語る能登の戦国物語」「能登立国1300年と香嶋津」唄う、踊る、崇める七尾の祭礼」の3件を応募。いしかわ歴史遺産に認定されることによって、市民のふるさと教育や関係する文化財の保存活用が促進され、文化財と観光が連携した歴史遺産として地域活性化に繋がるものとして期待している。また、今現在、能登一円に畠山文化を象徴する能登畠山氏の家臣の居城が点在しており、能登の4市5町の文化財保護審議会および各教育委員会事務局で組織する能登文化財保護連絡協議会に、今後何か取り組みは出来ないか提案していきたい。



城山・本丸跡地

その他の質問項目
■七尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略
■郵便局との新たな連携策
■生涯活躍のまちと七尾市応援隊
■地域包括ケアシステムの実現
■消防力の充実整備

林業をより活性化せよ！

佐藤議員 ①七尾市中島林業総合センターを積極的に活用して、林業の技術者を養成すべきと考えるが、市長の考えは。②森林および林業従事者が社会一般の生活水準に見合った生活環境を構築するための施策はあるのか。③七尾市の林業の活性化と雇用の創出からも、木材の有効活用を積極的に推進する必要があるが、市長の考えは。④私有林の整備は難しいが、荒廃する市内の山林対策の取り組みについて、どのように考えているのか。

不嶋市長 ①この施設で人材育成による使用実績は過去にないが、これまで県の林業人材育成研修を受講した市民もいる。国や県の様々な制度を利用していただくよう周知を図っていく。②今後就業者を増やすには、高性能の機械を導入することのほか、コスト削減や森林管理費の軽減なども大事。生産性を向上させて林業全体の収益が増えるようなことを考えていく必要がある。③七尾市は国の補助事業を活用し間伐などを行い、木材市場に搬出してはいる。また、七尾産材を使用した住宅への補助制度も設けている。④県、市、森林組合と所有者が協力して、国や県の補助事業を取り入れながら保全などに努め、制度の積極的な周知を図っていく。



市内の山林

その他の質問項目
■ほい捨て等を禁止する条例
■看護師の確保

平和を守る取り組みについて

第二能登丸の遭難を地域教材に！

山添議員 今年には戦後70年、「第二能登丸の遭難」について多くのメディアが取り上げ、テレビの特番や新聞にも大きく取り上げられた。証言や地域に残る資料も増えたので、整理、展示、活用するため市内の図書館に常設コーナーを設けることは出来ないのか。また、地域教材で「第二能登丸の遭難」を授業などに生かしていく考えはないのか。

岡野総務部長 8月に開催された平和写真パネル展では戦後70年ということもあり、また「第二能登丸の遭難」と題した紙芝居の反響もあり、昨年の2倍近くの来場があった。現在はスペースの問題で常設は難しいが、引き続き戦争の悲惨さなどについては啓発していく。

近江教育長 今年の平和写真パネル展では、1984年当時の小丸山小学校6年生が作成した紙芝居「第二能登丸の遭難」の展示や市内小中学校の平和に関する作品が展示されたが、新聞で報道されたように第二能登丸の資料は大変少ないのが現状。しかし、「第二能登丸の遭難」を地域教材として活用し、地域の貴重な戦争体験を語り継いで、平和について学ぶことは極めて大切なことだと思っている。



第二能登丸が遭難した海(能登島佐波町)

その他の質問項目
■市のシンボル「松の保護・再生」
■生活困窮者自立支援の取り組み総括
■かき殻の活用

一般質問

七尾城の復元について

一日も早い七尾城の復元を！

久保議員 七尾城は、日本五大山城の一つとして、能登の顔になっており、能登の政治、文化の拠点となっていた。改めて、能登畠山氏への思いはどのようなものか。また、今年には観光客も増え、ボランティアガイド要請も昨年の数を既に上回っている状況。七尾城復元CGも完成し、土地も取得し、今後は復元計画を盛り込み、調査整備を実施していく予定だが、どのような段階を踏んで、何年かけて復元していくのか。

近江教育長 能登畠山氏は、室町時代の戦国期に能登の国を治めた大名で、七尾城や城下町、畠山文化から生まれた長谷川等伯など、能登の礎を築いた人物だと考えており、今後もしっかりと情報発信をしていく。また、本年度から平成29年度までの3カ年で七尾城跡保存活用計画を作成し、この計画に基づき、国や県、専門家、地元の方々などにご指導ご協力をいただきながら、整備を実施していく。この整備は、腰を据えて取り組む長期プロジェクトだと考えており、当面は来訪者に対して、利便性を図る便益施設などの整備を順次行っていく。



七尾城CG画像

その他の質問項目
■フィルム・コミッションの設立
■コロナスキー場のキッズリフトの設置